

都市配電網整備計画【ミャンマー】

施策所管局課 国別開発協力第一課

評価年月日 令和 7 年 4 月

1 案件概要	
(1) 供与国名	ミャンマー連邦共和国
(2) 案件名	都市配電網整備計画
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日、供与条件などを含む	ヤンゴン地域及びマンダレー地域において、配電網設備を改修・増強することにより、同都市の電力供給の改善を図り、もってミャンマー全体の経済発展及び国民の生活向上に寄与するもの。 事業内容 ・ 変電所の改修・増強 ・ 送電線・配電線の改修・増強 ・ 変圧器改修・増強 ・ 特殊工事用車両の調達 ・ コンサルティング・サービス ア 閣議決定日：令和 2 年 1 月 21 日 イ 供与限度額：122.88 億円 ウ 金利：0.01% エ 償還（据置）期間：40 年（10 年） オ 調達条件：一般アンタイド
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	ア 社会ニーズの現状 本事業の計画当初、ミャンマーでの開発・投資の進展に伴い、電力需要が高まっており、電力供給量の増加の計画がなされていた。他方、安定的な電力供給のためには配電ロスの改善などが必要であるものの、同国全土の送配電ロス率は 2014 年時点で 20%と他の ASEAN 諸国と比較して高い水準にあり、発電所の新設や送電線の増強のみならず、配電関連設備の改修・増強が急務となっていた。 現在、電力不足に伴う 1 日 16 時間以上の計画停電が続いており、一般市民の生活に影響が生じていることから、本事業に関する社会的ニーズが引き続き認められる。

	イ 事業遅延に関する経緯・現状 ミャンマー情勢の影響により、事業の遅延が発生している。
(2) 今後の対応方針	本件に関する社会的ニーズは引き続きあるものの、2021 年のクーデターに伴いミャンマー情勢が不安定化しているところ、同情勢の推移を踏まえ、対応ぶりを慎重に検討する。
3 政策評価を行う過程において使用した資料等	・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 ・ 国際協力機構の案件検索 ・ 国際協力機構の事業事前評価表 ・ そのほか国際協力機構から提出資料